



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 3-10-7, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：世界とともにワイズメン(Y's Men with the World) キム・サンチュ(韓国)
アジア太平洋地域会長主題：100年を越えて変革しよう 大野 勉 (神戸ポート)
東日本区理事主題：私たちは次の世代のために何ができるか？ 大久保知宏 (宇都宮)
あずさ部長主題：道を拓く～愛と協力によって 長谷川あや子 (東京八王子)
甲府クラブ会長主題：ワイズ魂を堅持し、情熱を持って前進！ 石川 和弘

甲府ワイズメンズクラブ

2021年 12月 会報

●今月の強調目標

キリスト教理解・記録

■ ■ ■ 今月のことば ■ ■ ■

「飼い葉桶に眠る幼子キリスト」

新約聖書 ルカによる福音書2章1節～7節 日本基督教団南甲府教会 大木 正人 牧師 選

今月の例会案内

日時：2021年12月14日(火) 18:30～20:30
会場：ホテル談露館
担当：クラブサービス・プログラム委員会
会費：メン-2,000円、メネット・ゲスト-1,000円

プログラム

- ★第1部 クリスマス礼拝 18:30～19:00
司会 田草川すみ江 さん
説教 日本基督教団南甲府教会 大木正人牧師
- ★第2部 例会 19:00～19:20
司会 丸茂正樹 君
 - ・開会点鐘 石川 和弘 会長
 - ・ワイズソング・ワイズの信条
 - ・会長挨拶・ゲスト紹介 石川 和弘 会長
 - ・諸報告
 - ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ★第3部 祝会 19:20～20:30
司会 杉田雄二 君
 - ・食前の祈り 日本基督教団南甲府教会 大木正人牧師
 - ・乾杯、ワイズディナー
 - ・アトラクション モルックで遊ぼう
 - ・閉会点鐘 石川 和弘 会長

※モルックとは、フィンランド発祥の投擲競技で、木製のピン(モルック)を使って、12本の木製のピンを倒し、50点丁度になったものが勝利となるものです。

11月のデータ

会員数 30名(うち広義会員1名)
例会出席:メン 20名 ビジター:1名(大和田浩二様)
ゲスト:3名(中田純子様・大澤祥子様・池上宗遠様)
メーキャップ: 2名(金丸さぶろう・杉田雄二)
出席率:73% ドライバーファンド:3,600円

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

歴史について考えよう

東日本区ヒストリアン 仙洞田安宏

今月の強調テーマに「記録」という文言があります。ワイズの強調テーマに「記録」という文字が現われたのは初めてのことと思います。これは想像するに、ワイズ国際協会が2022年に100周年を迎えることから、「歴史」や「記録」について、その重要性を認識しようということだと思います。

今月の国際会長ニュースに、国際ヒストリアン事業主任が、在籍50年以上の会員(ゴールデンメンバーと呼びましょう)を探している旨が記載されています。甲府クラブでは、石原祥平会員(1968年5月入会)と石川和弘会長(1971年10月入会)の二人が該当します。

昨年、クラブの70周年記念誌の編集に携わりました。頼りにしていた大澤英二先生(1960年4月入会)が病床に伏していたため心細い思いをしましたが、過去の記念誌の存在が大変参考になり、改めて記録の大切さを痛感しました。これらの記念誌のソースの一つはブリテンです。ブリテンに記載されてある会員数、出席率、例会報告や事業報告の記録の集積がクラブの歴史となりますので、その正確性は重要です。

折しも去る11月25日に、「山梨YMCA資料室開設検討委員会」が設置されました。これは山梨YMCAの80周年に向けて、主に故大澤英二先生が所有していた、山梨YMCAやワイズメンズクラブ、それにYMCAが関係している団体等の膨大な資料を整理・展示する「資料室」の設置を検討するというものです。

このような「記録の基地」とも言える資料室の存在は、未来へ向けて歴史を紡ぐ上で拠り所となるでしょう。年の瀬にあたり、「記録」「歴史」について改めて考えてみましょう。

11月例会報告

11月例会が9日(火)、ホテル談露館において開催され、担当は地域奉仕委員会で石川健会員の司会で進められました。石川和弘会長は点鐘の後、「11月3日のYMCAバザーのびっくり市はワイズの皆さんの大きな協力の下、和やかに楽しく、何より約30万円の沢山の売り上げになり感謝です。」と挨拶をされました。ゲストの紹介では、卓話者の中田純子氏、宮川会員の紹介で池上宗遠氏、大和田浩二氏(松本クラブ)、大澤祥子氏が会長より紹介されました。

今月の言葉、食前の感謝を小倉会員により行われ、ワイズディナーになりました。コロナが下火になっては来たもののまだ透明の衝立使用での御弁当でした。バザーでの話など小さい声でマスク使用でしたが親しく話が出来ました。

11月の卓話は山梨YMCAチャイルドケア事業部ディレクターの中田純子氏に「子供に寄り添うチャイルドケア事業」と題して話して頂きました。プロジェクトを使い、一人一人に配布された分厚い資料に基づき分かり易く説明をして下さいました。「指示待ちの子どもが増えている中、子ども一人一人が自主性を養うために一斉にはせず自分で放課後を作り出し、考える力を育てられるよう指導している。0歳～100歳までのfor allのサポート、スタッフ一人一人が子ども達に寄り添うYMCAを作り出しています。」と熱く語られました。



11月27日に行われるチャリティーランについて渡辺副会長から説明があり、一人でも多くの会員が参加して欲しい、当日7:30に現地に集合とのことでした。

ハッピーバースデーとアニバーサリーに続いて露木総主事からバザーへの協力のお礼と11月6日に行われた大澤英二先生召天一周年記念の関田寛雄先生講演会は「大澤英二先生を偲び101名の方々の出席があった」と報告がありました。また、11月14日に行われるYMCA・YWCA世界祈禱週の説明を田草川が行いました。最後にYMCAの歌を歌った後、チャリティーランで会いましょうと、石川会長の点鐘で閉会しました。(田草川すみ江)

★ ニコニコメッセージから

- ★4名のゲストを迎える事に感謝です。(石川和弘)
- ★談露館でディナー付の例会、やはり周りの会員との楽しいコミュニケーション、有意義だと思います。一日も早くコロナが終息することを願っています。(秋山仁博)
- ★バザーお疲れさまでした。晴天に恵まれ楽しいびっくり市でした。和気あいあいとした皆様の笑顔が印象的でした。(田草川すみ江)
- ★バザーお疲れさまでした。寒くなってきたので体調に気をつけましょうね!(丹後佳代)

11月役員会報告

◎11月24日(水) 18:30～19:40 山梨YMCA

◎出席者:石川(和)・田中・渡辺・廣瀬・田草川・小倉・マウントフォード・標・仙洞田

【報告事項】

・本ブリテンに掲載事項は割愛します。(編集者)

▽11月12日・バザー、チャリティーラン(CR)合同実行委員会:バザーの反省会、CRの詳細を協議

▽11月22日・CR実行委員会:出席者:渡辺、小倉、廣瀬、当日の運営等について最終確認を行った。

【協議事項】

▽12月例会について:(担当・クラブサービス・プログラム委員会)一部礼拝、二部例会セレモニー、三部は8月に予定していたモルックをする。各プログラムを承認、会費設定は会計(欠席)と相談の上決定

▽新年例会について:担当・甲府21クラブ、期日・プログラムの連絡待ち

▽CRについて:渡辺さんから実行委員会の報告と当クラブの担当について説明があった。

【その他】

▽12月2日、忘年会について

▽2022年1月9日、「お正月を遊ぼう」の実施が決定したので、例年通り共催する。(書記・廣瀬静男)

📎 新クラブ設立準備会報告

コロナウイルス蔓延防止のため、5月以降準備会を休んでいましたが、11月12日(金)久しぶりに再開しました。長い中断があったため、会員候補者のモチベーションが下がっているのではないかと危惧をしていましたが、逆に「新クラブを早く立ち上げましょう」という声があがり、意を改めて強くしました。

現在会員候補者は8名で、10名になったらスタートと思っていたのですが、コロナの状況もどう変化するか分かりませんので、10名に拘らず進めたいと思います。

(仙洞田安宏)

第61回 チャリティー バザー報告

廣瀬 静男

山梨YMCAの二大イベント無事終了!

第23回 チャリティー ラン報告

渡辺 徳之

11月3日(水)山梨YMCA新館では2回目のバザーが開催されました。甲府ワイズは8時に玄関前に集合、石川会長の挨拶の後、それぞれの持ち場で準備作業を開始、今年も雨の心配はなく一安心。甲府ワイズはびっくり市、蚤の市、果物販売、北海道バターチーズ・昆布の販売を担当しました。びっくり市は開場前にかかなりの列ができたため、予定時間より少し早くオープンしました。会場が密にならないよう1回の買い物時間を15分、20人と入場制限を行いました。びっくり市は多くの人手が必要になりますが、メネット、パートナー、コメントの協力が大きく売りに貢献し、半額セールの効果もあり、売り上げは前年より大幅に増え28万円を超えました。

毎年人気の果物、北海道バターチーズ・昆布は今年も完売、最後はテントの解体と残った商品を入れた段ボール箱を倉庫の2階へ移動という作業ですが、皆の力で無事終了。14時少し前にすべての作業が終了、会長のねぎらいの挨拶で解散。今年にはコロナ禍の中、準備のスタートが遅れ、開催方法、時期が決まるまで何度も会合を開き、難航の末やっと開催にこぎつけました。来場者も去年並みとのこと、多くの関係者の尽力に感謝します。甲府クラブ参加者：メン17名、メネット・コメント・パートナー5名)



大澤英二先生を偲ぶ-召天一周年

大澤英二先生が亡くなられて早いもので一年が経ちました。その故人を偲ぶ「大澤英二召天一周年記念講演のつどい2021」が11月6日(土)、午後1時30分から山梨YMCAにおいて開催されました。大澤夫妻と学生時代(青山学院)から親交のあった、関田寛雄牧師の講演「和解の務めに生きる-YMCAの課題」は、93歳とは思えぬかくしゃくとした語りで、アジア・太平洋地域に対する日本の歴史的責任について、

今年で23回目を迎えた山梨YMCAチャリティーランは、11月27日(土)小瀬スポーツ公園補助競技場で開催されました。この大会は当初同公園のジョギングコースを中心に公園内通路で開催されましたが、年々規模の拡大と同公園利用者との安全確保が問題となり、陸上競技場へ会場を移し開催しましたが、同競技場がサッカーリーグの会場となった事から会場確保が困難となり、再度現在の補助競技場へ変更して現在に至っています。

度々の会場変更にも関わらず、23回もの長く開催されて来たのもYMCA関係者の熱い思いとご支援の賜物と言えます。当クラブでも早朝から多くのメン・メネットの皆さんにご参加頂き誠に苦勞様でした。

当日は、例年通り当クラブは設営を主に担当し、メネットはラッフルを担当致しました。また、例年通り司会を丹後会員が、写真を標会員が活躍しておりました。

レースの運営は甲府21クラブが担当し、今年にはコロナ対応の為例年の方式を変更して、子供の部・大人の部等に分けて競技場内で実施されました。

終了間際に北風が強くなりましたが、全般的には晴天に恵まれ無事終了出来ました。この大会が来年に向けてさらに良い大会になるよう課題を検証しつつ皆で盛り上げて行きたいと思えます。

甲府クラブの参加者は、メン13名、メネット5名(武田道子さんも含む)、コメント1名(丹後)でした。



YMCAの果たす役割を説かれました。

また、寺島昭二(元甲府教会牧師)、依田逸夫、岩間孝吉(共に甲府一高ハイOJB)の三氏から、故人の人柄を紹介する思い出が語られました。最後に献花をして会が閉じられました。出席者は、東京、埼玉からも含め101名、甲府クラブからは、石川和弘・石川健・小倉・金丸・鈴木・田草川・マウントフォード・廣瀬・渡辺・仙洞田、メネット石原(靖子)・小倉でした。



談話室

「夜間中学-山梨の今」

宮川 真有

早いものでもう「師走」、皆様にとってはどのような一年をお過ごしになられたでしょうか。

多くの方は新型コロナウイルス感染拡大により、大なり小なり様々な影響が生じた一年だったのではないかと推察致します。私もその一人です。6年主宰させていただいている「自主夜間中学」も休校する月もあり、学びの機会より感染対策を取らざるを得ない歯がゆさ、生徒たちのモチベーションの低下も懸念されましたが、このような時だからこそSNSなどで今午のコミュニケーションを取り合っています。

さて「夜間中学」とは、戦後学ぶ機会の無かった方々のための公の学校で、現在は不登校や様々な事情で義務教育を受ける機会が少ない方々のための学校です。教育機会確保法も成立し、各県に1校は配置をという事になっておりますが、山梨県に夜間中学は無いため、私達はあくまで「自主夜間中学」です。現在17名、15歳から72歳までが学んでいます。経済的な余裕が無い方がほとんどで、ボランティアの先生方のご協力、地域の方、宮川自身の貯金を切り崩し運営している状況です。しかし喜びは多く、15年ひきこもりだった方が、高校に通えるようになったり、外国からお嫁に来た方々が漢字や歴史などを通して、日本の文化を理解したうえで地域に溶け込めるようになった事などなど数えきれません。現在は学習支援に加え、夜間中学設置を県に働きかける活動もしております。

コロナの感染拡大が収束し、学習機会の担保、多様な教育機会の推進こそ山梨の未来を拓くと信じ活動してまいります。甲府市の中心街に教室を置かせていただいています。皆様もぜひ遊びにいらしてください。

12月アニバーサリー

丸茂 正樹・宣恩（1日）

12月 ハッピーバースデー

メン:小倉 恵一(2日) 宮本 秀憲(13日)
標 克明(15日) 田中 克男(23日)
メネット:廣瀬 昌子(26日)



バザー、チャリランが 終わればクリスマス!!

山梨YMCA 総主事 露木淳司

皆様のおかげをもちまして、YMCA2大イベントは共に無事大成功の裡に終わりました。バザーでは、いつものように甲府ワイズのびっくり市に开店前からお客さんが列をなし、21ワイズコーナーでは、福袋にお花、大根に古本、竹細工など、テント6つを使って賑やかにバザールを演出してくれました。また、富士五湖クラブは、いつものようにおもちゃつりとクリスマス用品、木工おもちゃにクッキーなどで盛り上げてくださいました。そして、チャリティーランでは、白い甲府ワイズ軍団と緑の21ワイズ軍団、そして黄色のYMCA職員軍団のトライアングル部隊が見事に機能して、4つの種目が実にスムーズに展開されました。表彰式に突風が吹いて混乱しましたが、終わる頃には何とか落ち着いて事なきを得ました。あいにく富士五湖クラブはイベントが重なって不参加でしたが、素敵な抽選会の景品が届けられ、思いをつないでいただきました。準備から当日運営までご協力いただいた皆様。本当にありがとうございました。

YMCAは今やクリスマス一色です。クリスマスはイエス様の誕生日ですが、イエス様は何のために生まれてきたのでしょうか。「神は、その独り子をお与えになったほどに世を愛された。」(ヨハネ書3章16節)と聖書にあります。これは神様が人のかたちになって、馬小屋で生まれて、十字架にかけられるまで、私たち人類にどのように生きるべきかを示す生涯を送るためだったのです。中には「イエスなんて信じないから」という人がいるかもしれませんが、ところが、イエス様はこう言うのです。「あなたがたが私を選んだのではない。私があなたがたを選んだ。～互いに愛し合いなさい。」(ヨハネ書15章16節)と。イエス様はその人がイエス様のことを知らなくても、他の神様を信じていたとしても、同じように選んでくれて、愛してくださるのです。だから、クリスマスにはどんな人でもプレゼントをもらえるのです。



メンバーズニュース

★ 渡辺さん、NHKの番組に登場

11月20日(土)朝のNHKの情報番組「おはよう日本」で、武田信玄公生誕500年を迎えた甲府への旅番組中、渡辺徳之会員が代表を務める「甲斐手づくり甲冑の会」の活動が紹介され、渡辺さんへのインタビューが放映されました。

これからの行事予定

12月21日(火) クラブ役員会(山梨YMCA)
1月 9日(日) お正月を遊ぼう(北口よっちゃばれ広場)
1月11日(火) 合同新年例会(談露館)
1月25日(火) クラブ役員会(山梨YMCA)